

夢・希望・未来に向かってひと輝くまち



広報

くじ

6

2016
月1日号

No.246

主な内容

牛と共に歩む	P 2~9
春の叙勲・褒章	P 10
いわて国体通信	P 11
財政状況のお知らせ	P 12~13
「18歳選挙」が始まります	P 14~15
News & Info	P 16~19



第19回 全国闘牛サミットin久慈大会

記念闘牛大会 平庭闘牛場
2016.6.12 10:00~

「塩の道」は「ムコ」の道

藩政時代、青森県から岩手県北部にかけての太平洋沿岸地域は、献上品にも用いられる優秀な「南部駒」を輩出する馬産地として知られていました。南部駒の生産において、中心的な役割を果たしたのが「南部九牧」と呼ばれる9カ所の官営牧野。市内では、侍浜に「北野牧」、宇部に「三崎牧」が置かれていました。

※南部藩は1664年以降、盛岡藩と八戸藩に分かれ、市内では宇部・山根・侍浜の一部が盛岡藩領でした

そして、馬と並んで重要な特産品とされたのが「南部牛」です。盛岡藩内では1万5千〜2万頭あまりの牛が飼育されており、その約8割を九戸郡と下閉伊郡が占めていたとされます。ヤマセの影響で十分な農作物を得ることが出来なかつた沿岸地域において、畜産は古くから重要な産業でした。

昭和初期に刊行された九戸郡誌には、南部牛について「骸質強健、肢蹄堅牢、能く粗食に堪ゆる特性を有し、肉役兼用に適せる畜牛として広く他府県に輸出される」という記載があり、使役牛として広く知られていたことがうかがえます。藩としても牛の販売を重要視し、一時期は他藩への無許可での移出を禁止する「他領移出御法度」の定目に

加えられましたが、これは農民からの反対も激しく早期に解消したようです。記録によると、毎年3千頭あまりの子牛が藩外に移出され、東北のみならず、遠くは新潟・長野・千葉などまで販売されました。また、新潟などに鉄を移送した際に、運送した牛も売り払い身軽になって帰路についた、という逸話も残されています。

農家にとって、田畑に使う「厩肥」を得るために家畜の存在は欠かせませんでした。加えて輸送手段、子牛販売により現金収入を得る手段としても、牛は農家の経済において大きな位置を占めていました。しかし、自分で牛を買える農家ばかりではありません。零細農民に対しては、牛を貸付けて飼育・繁殖させ、子牛の販売収益を得る「立分飼育」と呼ばれる小作制度が行われていました。これらにより、下閉伊郡では、多くの家で2〜4頭程度の牛を飼っていたと記録されています。

謎多き「南部牛」
南部藩領で飼育されていた在来種を総称し南部牛と呼びます。明治以降、外国種との交配が進んだため、現在は純粋な南部牛は存在しません。そのため、その正確な姿は不明ですが、前駆



平庭高原キャンプ場近くにある奥清水のベゴ泊り場跡。かつて牛方たちが野宿をした場所で、牛が水を飲む「木船」も再現されています

「牛の習性」を巧みに利用

牛方は1人で6頭から7頭の牛の群れを率いました。この群れのことを「ハズナ」と呼びます。7頭もの牛を1人で統制するのは容易なことではありません。牛方は、牛の習性を巧みに利用することで、これを実現しました。

そのひとつが、強い牛に従って群れを形成する習性です。群れの中で順位が明確な場合、牛たちは順位の高い牛に従います。逆に、順位があいまいだと、牛同士がケンカをしたり、群れが分裂してしまいます。牛方たちは、春に牛同士を戦わせる「角突き」を行い、群れの中の順位を明確にして、統制しやすいハズナを作り上げました。この「角突き」が、現在の闘牛のルーツにもなっています。ハズナのリーダーは「ワガサ(若様)」

牛と共に歩む

緩慢な例えとして使われる「牛の歩み」。しかしその歩みには、険しい山をものもしない力強さが秘められています。数百年の長きにわたり、人々の生活の基盤であった「塩の道」による交易。それを支えたものこそ、ゆっくりと、しかし着実な「牛の歩み」でした。この地に息づく牛と共に歩んできた歴史。そしてこれからも牛と共に歩もうとする人たち。そんな「牛」にまつわる物語を紹介します。

塩の道旧道入口



が多数存在しています。

ヤマセの影響により、農業だけでなく生計を建てるのが難しかった沿岸部の農家では、春や秋の農閑期になると、自家用の牛2〜4頭に塩を積み「駄替え」という交易に出ました。駄替えでは、それぞれ得意先の集落を訪れ、米や穀物と交換したようです。

塩と米の交換比率は、盛岡城下では一般的には塩1升対粳1升(玄米に換算すると塩4升対玄米3升)とされます。一方で、塩は内陸に行くほど貴重になるため、藩内でも鹿角や沢内まで運べば塩1升が米3升になったとも言われています。しかし、牛たちを統制して遠征するのは、誰にでもできるこ

「塩の道」による交易

が発達し、脚が短く関節が丈夫、日本在来牛としては大きめの体格であったと推測されます。また、牛や馬を管理した牛馬帳には、黒・白・赤・柄などの毛色と、絞・簾・鼻白などの特徴が記載されており、さまざまな色・柄の牛がいたことがうかがえます。

岩手県沿岸部では、各村々に塩釜が作られ、「製塩」が行われていました。沿岸部で作られた塩は、内陸部に運ばれ穀物などと交換されました。この塩を運んだ交易路は、現在「塩の道」と呼ばれています。県内には沿岸各地と盛岡、そして山間部を結ぶ「塩の道」

牛方道中あれこれ



三陸鉄道の陸中野田駅前に建てられている牛方の像

■牛は「追う」もの
「牛を率いて〜」という、馬のように手綱を引く様子をイメージする人も多いかもしれませんが、実際は「南部牛追唄」と民謡の名称にもあるように、牛方は「バアバア」と声を上げて牛

を追いたてたといいます。牛には識別と獣よけのために鈴や鐘が付けられていました。牛方が行きかう塩の道の往来は、さぞにぎやかだったことでしょう。

■子どもの玩具も「牛」

右の写真は葛巻町で収集された「ベゴ」「わらべ牛」などと呼ばれる玩具。アカマツ製で、枝部分を角に見立てています。鼻輪と綱も付けられており、中には車輪がついた「ベゴ」もあることから、子どもが引いて歩いて遊んだものかもしれません。かつては、子どもたちにとっても、牛が身近な存在だったことを物語ります。



とではありませんでした。

輸送のフロ「牛方」

江戸時代中期ごろから、県北地域では各地に鉄山ができ、出雲と並ぶ一大鉄産地へと発展していきます。鉄の生産が盛んになるにつれ、鉄山に木炭や砂鉄、粘土などの資材や、米や酒などに、また鉄を運びだすために、恒常的に大量の輸送を行う需要が生まれまし。そうした状況のなかで、多数の牛を従え、輸送を生業とする、プロの「牛方」が登場することになります。物々交換ではなく、金をもらって輸送を担うことから駄賃付とも呼ばれました。

鉄山用務をはじめ、長距離輸送にはコテイと呼ばれる3歳以上の雄牛が使われ、雌牛や若い牛は近距離輸送に使われました。

輸送の道中には牛方宿があり、そこに宿泊するほか、時には野宿することもあったようです。野宿する際には、オオカミやクマの襲撃に備えて、牛の角を外を向くように円形に並べたという話も残っています。他にも、輸送中に急病にかかって行き倒れた記録や、牛が川に入り塩を流してしまったという逸話も残されています。各地を渡り歩く牛方は、憧れの目で見られる職業でもあったようですが、決して気楽な稼業とはいえなかつたようです。

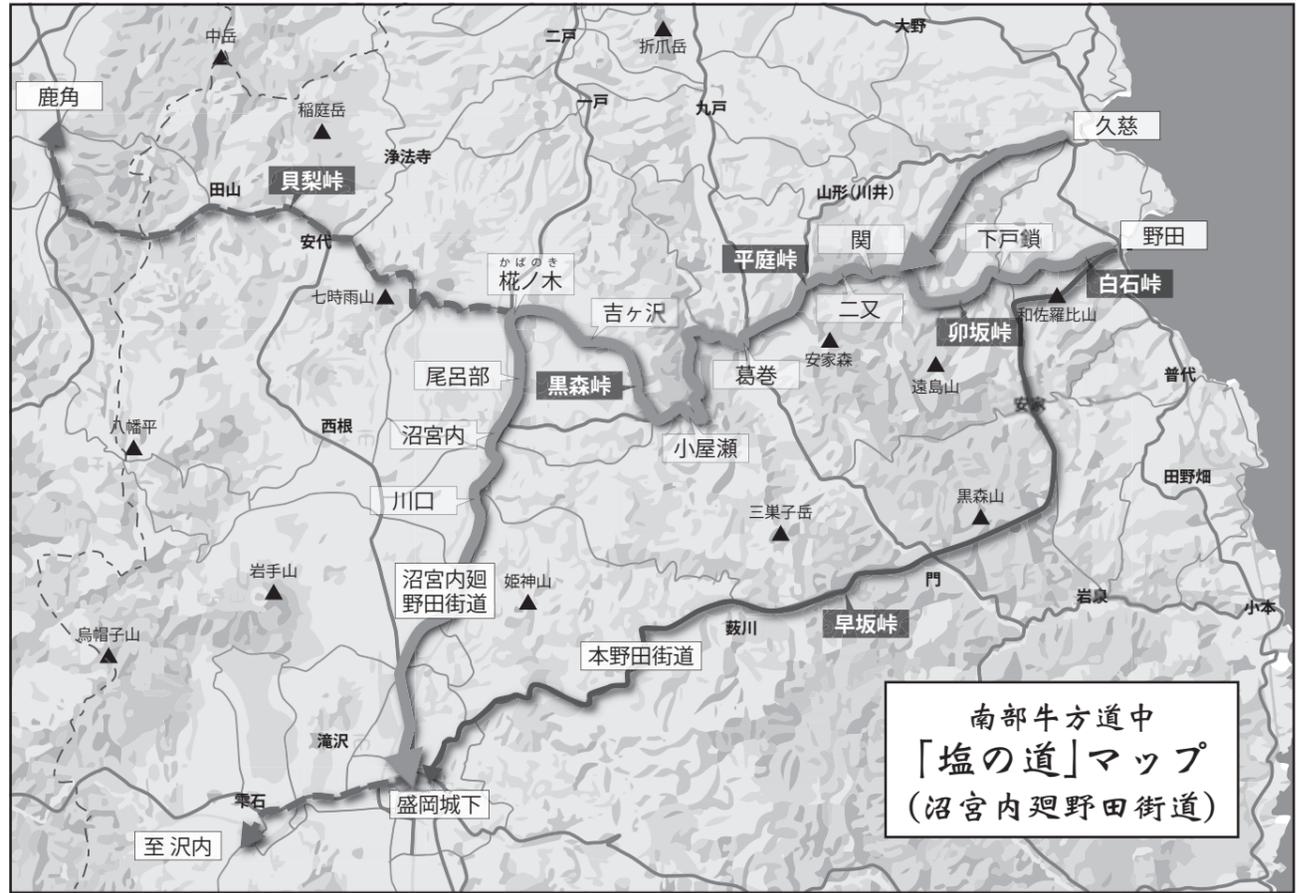


山上げ後、山間部の牧野でのびのびと放牧される短角牛の母子。ストレスの少ない自然に近い環境で、たくましく健康に育つといえます。

「短角牛」の歩み

短角牛」と始め

現在の短角牛につながる歴史は、明治4年に民部省がアメリカからシヨートホーン種の牡牛2頭を取り寄せ、岩泉に導入したことに始まります。以来、数度にわたって有志がシヨートホーン種を導入。これを在来の南部牛と掛け合わせ品種改良が進められました。明治期はさまざまな外国品種が導入されており、途中、デボン種（肉用）、ホルスタイン種（乳用）、エアシャー種（乳用）なども導入されたようです。最終的に、放牧適性などからシヨートホーン種を中心とした交配が進められ、何代にもわたって改良が重ねられました。昭和32年（1957）に日本



南部牛方道中「塩の道」マップ (沼宮内廻野田街道)

用語解説

■夏山冬里（*1）

5月～10月ころにかけて山間地の牧野に放牧されます。秋になると「山下げ」が行われて、牛たちは冬の間は牛舎で飼育され、また春になると「山上げ」で放牧地に戻されます。放牧中は「ベゴマブリ」などと呼ばれる監視役が牛を管理します。農繁期の春から秋にかけ放牧するため、農業等との複合経営に適した方法でした。

■まき牛繁殖（*2）

山での放牧中に、雌牛40頭ほどに対し雄牛1頭を入れ自然交配で繁殖させる方法。牝牛は、山から下り牛舎で飼育される2～4月ころに出産のピークを迎えます。

■繁殖農家/肥育農家（*3）

肉用となる子牛は9カ月齢ほどで親から離され肥育期間に入ります。母牛を飼育し子牛を生産・販売する「繁殖農家」、購入した子牛を太らせて肉として出荷する「肥育農家」、両方を行う「一貫経営」の3形態があります。

短角主登録協会が発足し、日本で4番目の和牛品種として「日本短角種（以下、短角牛）」が誕生します。

地域に根差した品種

一般的に肉用牛として知られる黒毛和種と比べると大型の品種で、繁殖雌牛で約590kg（黒毛和種は約465kg）、雄牛は成長すると1トを超える場合もあります。また、成長が早く、約22カ月齢（黒毛和種は約30カ月齢）で肥育を完了できます。

短角牛の優れた特性として「母牛は泌乳量が多く子育てがうまいため、離乳まで母乳のみで子育てできる」「稲わらや牧草などの『粗飼料』主体で飼育できる」「放牧適性が高く、山間部

と呼ばれます。強いリーダーがいればその1頭を追うだけでハズナ全体を簡単にコントロールできます。優れたワガサを所有することが、輸送を容易にし、より長期間・遠距離輸送を可能とする「牛方の手腕」にもつながります。そのため、強いワガサを持つことは、牛方にとって誇りであり、良い仕事をするために欠かせないことでした。優れたワガサがない場合、また慣れない牛がいる場合などは、中追い、後追いと呼ばれる手伝いを連れ、ハズナを複数人で追うこともあったようです。

「塩の道」をたどる

「塩の道」の一例として、野田から盛岡に向かう「沼宮内廻野田街道」を例にとると、その道のりは約27里半（約110km）。牛1頭あたり100kgほどの荷を背負い、6泊7日の行程で盛岡城下に入ったとされます。牛の輸送速度は、1日に約3里半から4里といわれます。馬の場合は1日に約8里とされるので、牛の場合は輸送速度が半分程度しかないとになります。

なぜ、速度の出る馬を使わないのでしょうか。それは「塩の道」の道のりに理由があります。「沼宮内廻野田街道」には平庭峠と黒森峠、南進し小本街道と合流する「本野田街道」には早坂峠という難所があり、これを馬で越えることは困難でした。また、馬は1

の牧野を放牧地として利用できる」などの特徴が挙げられます。

これらは「南部牛」を飼育していた藩政時代から行われてきた「夏山冬里」「まき牛繁殖」と呼ばれる飼育方法に適した特性です。このことは、短角牛が山間地に適し、品種改良がおこなわれてきた証でもあるといえます。

主な産地は北東北3県と北海道。現在、全国で約7700頭が飼育されていますが、そのうち約40%にあたる約3200頭が岩手県で飼育されています。短角牛の頭数は、昭和60年ころがピークで3万5千頭を超えていたが、平成3年の牛肉輸入自由化以後は減少の一途。現在は全国で生産される肉牛の中で短角牛の占める割合は1%にも満たない状態です。

短角牛の肉質は赤身が主体。枝肉の格付評価では、脂肪交雑（いわゆる脂



平庭峠の手前にある馬場家は、かつて荷物の交換場でもあり牛方宿を営んでいました。今も塩を保管した板蔵（写真後方の建物）が残されています

頭当たりの積載量は牛と同様でしたが、馬方1人で引ける馬は4頭程度で、さらに山道で荷崩れを起こしやすかったようです。歩みの遅い牛ですが、悪路に強く藩政時代は輸送の主役でした。人は塩なくして生きていくことはできません。急峻な山道が続く「塩の道」は暮らしの根幹となる交易路であり、その道を進む牛の歩みが人々の生活を支えていたのです。

明治以降、輸送スピードが求められるようになり、輸送の主役は馬に取って変わります。さらに明治末期には鉄道や自動車による輸送へと変化。牛による輸送は車の入れない山奥や家用運搬に細々と使われるのみとなり、昭和30年代ごろを最後に、生業としての牛方は姿を消したようです。その中で牛の役割も使役牛から肉用・乳用牛などへと変化していきました。

のサシ）や肉のきめ等を重視するため、低く評価されがちでした。近年は、赤身肉の評価の高まりもあり、見直されてきているようです。

「自然」で「健康」な牛を

県内で飼育されている短角牛の20%ほど、約600頭が山形町で生産されています。山形町では古くから短角牛の飼育が盛んでしたが、かつては子牛の生産・販売を行う繁殖農家が多く子牛価格の高低に翻弄されてきました。昭和50年代に入り、肥育・出荷まで行う一貫経営を目指す中で、東京の消費者団体「大地を守る会」との間で産直方式（中間業者を通さない消費者との直接取引）に取り組んできました。大地を守る会は、現在も山形町で生産される短角牛の主要な出荷先であり、山形町では同会が主催する産地との交流ツアーなども行われています。

そんな山形町内で育てられる短角牛は「山形村短角牛」のブランドで出荷されます。山形村短角牛の特徴は『育て方』、そう話すのは中屋敷稔さん。地元に戻り、就農して6年目。くじ短角牛肥育部会の部会長を務める若い生産者です。山形村短角牛は、豊かな山林資源を生かし「夏山冬里」方式と「まき牛繁殖」という、昔ながらの方法で飼育されています。また、安全・安心な肉へのこだわりから、飼料は全て国

産を用いているのも特徴のひとつです。

「赤身肉のブームで短角牛も注目されていますが、子牛価格が倍以上に跳ね上がる一方、出荷する枝肉の価格にはあまり反映されていません。現状は、肥育農家にとって厳しい状況です。でも、短角牛の評価を上げ、生産者が手間暇に見合う収益を上げるためにも、ここが正念場。肉質をより高める肥育方法の改善に取り組む必要があります」と話す中屋敷さんが、さらなる課題として挙げるのが、供給できる頭数の確保。「新規の販売先からの引き合いもあります。現状では既存の販売先さえ供給不足。出荷時期を繰り上げて若い牛を出荷するような状態が続いています。需要に見合う頭数が増やせれば良いのですが、町内の畜産農家は高齢化が進んでいることもあり、簡単にはいきません。」育てた牛をどう売っていくか、生産者たちの試行錯誤は続いています。



J A新いわてくじ短角牛肥育部会長 中屋敷 稔さん



短角牛を「6次産業化」

繁殖・肥育、さらに製品の加工・販売まで一貫して手掛ける「6次産業化」。短角牛の6次産業化に取り組んでいるのが、侍浜町の有限会社田村牧場（田村英寛代表取締役）です。元々は酪農経営から始まり、10年ほど前から短角牛を導入した田村牧場では現在、乳牛約千頭、黒毛和牛と短角牛それぞれ約250頭を飼育しています。

田村牧場では、市内に直営の焼肉レストラン「たむら屋」を経営しています。自家生産した牛の枝肉を使用し、焼肉用として使えない部位もハンバーグやジャッキー、カレーに加工して販売。直営ならではの強みを生かし、資源を無駄なく使っています。

「たむら屋」を始めたきつかけを「自分たちが丹精こめて生産した牛を、しっかりと形でおいしく食べてほしい」という思いがありました。そこまで責任を持つことが『牛飼』としてのやりがいにもつながります」と話す田

久慈平岳の麓に位置する久慈平岳牧場で、のびのびと過ごす子牛。田村牧場の短角牛は肥育牛をのぞき、冬の間も牛舎に入れず周年放牧・自由交配で飼育されます。厳しい冬に耐えられるのか心配になりますが、牛は食べた草を第1胃で発酵させ「発酵熱」を生じさせるため、飼料さえ適切に与えれば、寒さに耐えるのが自然な状態なのだとか。



田村牧場で生産した「短角牛」「黒毛和牛」を使用したメニューに加え、短角牛肉の販売もおこなっています ■焼肉たむら屋 長内町 32-15-2 ☎ 61-4129

村さん。短角牛を導入したきつかけも「自分で食べておいしかったから」というだけあり、周年放牧や食味を安定させるための28カ月齢以上の肥育など飼育方法にもこだわりがあります。特に、飼料は一部の配合飼料を除き、全て地元産。自家栽培の牧草、飼料用トウモロコシに加え、米をワラごと刈り取って破碎発酵させた「ホールクロックサイレイジ」も使用しています。この米は大川目や夏井、宇部の農家・農業法人に生産を委託。畜産以外の地域農業への波及効果も生み出しています。



有限会社田村牧場 代表取締役 田村 英寛さん

だという田村さん。「うちの短角牛は飼料を地元産にこだわって飼育しているため、頭数を増やせば牧草地や畑用地の拡大、米の収量拡大にも取り組まなくてははいけません。飼料米を作るための農地集約なども進めなくてはならないし、そうなるも個々の農家だけで簡単にできることはありません。短角牛だけの話ではなく、今後『地域の農業をどうしていくのか』という大きなビジョンを描く必要があります。簡単な道ではありませんよ」と話す口ぶりは軽くはありません。しかし「でも、やはり『牛飼』は楽しい。そして、食べた人が『おいしかったよ』と言ってくれる。これは最高だと思います！」そうやってやさしい笑顔をみせる田村さんの言葉には、牛と共に生きる誇りが満ちています。

短角牛を味わう

短角牛の特徴は、余分な脂肪が少ない赤身の肉。グルタミン酸やグリシン、アラニンなど、肉本来のうまみ成分が非常に多く含まれています。そのため、焼いてステーキというのも良いですが、その真骨頂は煮込み料理。うまみがとても強いので、短角牛肉を使っただけで、味が一変するはず。お試しあれ。

誰が調理しても「脂があって・やわらかくて・美味しい」となる黒毛和種などと違い、短角牛は調理にコツが要ります。特に火が通り過ぎると、肉が硬くパサパサになるので、火加減は細心の注意が必要です。

「どう調理すればいいの？」という人のために、北風土では購入者に対して調理の仕方について、包丁の入れ方、火加減、味付けなどこと細かに指示を書いたレシピやアドバイスを書いて渡しています。依頼を受

けて短角牛を使った料理教室などを開催していますが、ちょっとしたコツで味が変わるのを実演すると参加者からよく驚かれます。

生産者の皆さんが一生懸命育てた短角牛。本当においしい牛肉なので、ぜひおいしいカタチで食べてほしいです。そのためにも、調理する際に『おいしく味わうための、ちょっとした努力』をお願いしたいと思います。



短角考房 北風土 佐々木 透さん

山形町の短角牛農家の心意気はほれ、2004年に山形村短角牛だけを扱う精肉店「短角考房北風土」を開業。「山形村短角牛は日本一おいしい牛肉だと思っている」と自信満々に語ります ■短角考房 北風土 山形町霜畑 5-9 ☎ 090-8783-9183

- 山形村短角牛は毎月29日(肉の日)、次の場所でも販売を行っています。 ☎ J A新いわてくじ短角牛肥育部会 ☎ 52-1548
- ▶道の駅 白樺の里やまがた(山形町川井8-12-1)
- ▶J A新いわて ふれあい産直ショップ花野果(中央1丁目56)
- ▶道の駅くじ やませ土風館(中町2丁目5-1)

牛と人をつなぐもの

闘牛の起源は「南部牛」

山形町平庭高原で行われる平庭闘牛大会。全国6県9市町で開催されている闘牛の北限であり、東北地方唯一の闘牛大会です。この起源となったのは、塩の道を往来する牛方がハズナを束ねるために行った南部牛の「角突き」。地域の歴史を伝える文化的な価値が認められ、5月に市の無形民俗文化財にも指定されました。

国指定重要無形民俗文化財となっている新潟県長岡市(旧山古志村など)・小千谷市の闘牛の起源も、藩政時代にこの地方から移出された南部牛にある

といわれます。かつての南部牛同様、山形町は闘牛用の素牛産地としても知られ、ここで生まれた短角牛たちが全国の闘牛家に引き取られ、大柄な体軀を武器に新たな「南部牛」として各地の闘牛で活躍しています。

平庭闘牛のはじまり

平庭闘牛のはじまりは昭和30年代、まだ細々と輸送用に牛が使われていたころの話です。昭和35年6月19日、つじ祭りのイベントとして第1回闘牛大会が開催。これが好評を博し、その後3年ほど実施されましたが、安全対策の冊などがなかったことため、警察

interview



いわて平庭高原闘牛会 澤口 敬志さん

勢子の役割

闘牛で牛が戦うのは、群れのリーダーを勝ち取るための本能的な行動。勢子の役割は、牛の味方になり、戦いやすいように誘導してやることです。本来、牛は周りをとても気にする動物なので、となりに勢子がついていることで、安心して戦いに集中できるんです。

牛は鼻が弱いので、手綱を引くと「待て」がかかります。相手の動きを見ながら良いタイミングで手綱をゆるめるのが駆け引きです。また、牛のやる気を引き出すために肩をたたいたり、かけ声をかけたりすることもあります。ただ、相性や体調、気候によってやる気を出してくれない牛もいます。こればかりは生き物相手なので仕方がないですね。

闘牛サミットでは、全国の皆さんに恥じないような仕事を見せたいと思います。

闘牛観戦 ここに注目!

そっぽを向いて?にらみ合い



闘牛場に入ると始まるのがにらみ合い。そっぽを向いて動かないように見えますが、必死の形相で(横目で)相手の出方をうかがいます。時には、ひとにらみで勝負がついてしまうことも。

勢子の動きにも注目!



勢子の役割は牛が戦いやすい環境をつくること。「牛が動き出す際の手綱さばき」や「牛を鼓舞するかけ声」。また平庭闘牛の特徴でもある、勝負を分けるタイミングにも注目です!

気合十分? 試合前の仕草



牛は闘牛場に入ると戦いの場所だと認識します。「ヴォー、ヴォー」とドウ声と呼ばれる低いなり声を出したり、前足を付いて地面をこするネリを踏み仕草は、気合が入っている証です。

華麗な技で魅せる!



巨体同士のぶつかり合いも闘牛の魅力ですが、角を巧みに使い相手の攻撃を封じて突き上げたり、相手を下から担ぎ上げたり、フェイントをかけたり。そんな、多彩な技にも注目です。

からの指導により休止してしまいました。その後、観光資源として闘牛を復活させようという機運から、昭和58年にいわて平庭高原闘牛会が発足。今に続く平庭闘牛の歴史が始まります。当時は、山から木を切つて柵を作つて貰ってきたガードロープを巻き、手作りで闘牛場を作つたといわれています。それから30余年。平庭闘牛は毎回千人以上が訪れる地域の観光資源に成長しました。

また、出場する牛の多くは短角牛ですが、黒毛和牛や雑種に加え、中には「平庭嵐」や「柿の花パンダ」といった鹿児島県徳之島町からやってきた牛もいます。闘牛に使われるのは雄牛で、通常の肥育牛と異なり去勢はされず、闘争心を持つように分けて育てられます。2〜3歳でデビューし、以降10歳くらいまで活躍。大型のものでは体重1トを越え、迫力あるぶつかり合いを見せてくれます。

誇れよ闘牛!

闘牛に携わる人は、牛を飼育している畜産農家などが多くいます。ただの興行として終わらせず「より多くの人々が牛を知りかけにしたい」という思いで取り組んでいます。

牛を身近に感じることが少なくなつた昨今、闘牛は牛と人をつなぐ数少ない機会になっています。そして闘牛をきっかけに、闘牛ファンやオーナーをはじめ、普段は畜産に関わらない人たちの絆も生まれています。

多くの人たちの情熱に支えられ、発展してきた平庭闘牛。それは「塩の道」から連綿と続く、人と牛とが強く結びついてきたこの地域の文化の一端を見せてくれるはずです。まずは平庭高原へ。牛と人がタッグを組んだ真剣勝負に声援を送り、その歩みに思いをはせてみてはいかがでしょうか。

闘牛文化を次世代につなぐ

私が子どものころは、まだ牛方が現役で働いて、牛というのはとても身近な存在でした。春になると、集落で「角突き」とか「ベゴ相撲」なんて呼ばれる闘牛が行われました。その時は、学校も休みになり、みんなで見に行ったものです。山奥で作った木炭を自動車の通れる道まで運び出したり、冬の間の餌になる野草・牧草を山から降ろすのが牛の仕事。また田畑をたがやしたり厩肥を生産したりと、農業には欠かせることができませんでした。

牛の角突きは、江戸時代に塩や鉄を運んだ「塩の道」の輸送という歴史を伝えるもの。古くから牛と共に歩んできたこの地域にとって、欠くことのできない「文化」ではないでしょうか。現在、闘牛を続けている地域はどこも、人と牛が強い結びつきを持つてきた地域で、それぞれの「闘牛文化」を持っています。

第19回 全国闘牛サミットin久慈大会

闘牛を開催する9市町の自治体及び闘牛団体が参加し、闘牛文化を継承し盛り上げていくための交流の機会となっています。各自治体の持ち回りで開催され、山形村時代を含め、久慈では3回目の開催となります。記念闘牛大会には沖縄・新潟からも闘牛が参戦予定。この機会にぜひ闘牛の迫力を体感してください!

■闘牛サミット記念闘牛大会
日時: 6月12日(日) 10時~
会場: 山形町平庭闘牛場
料金: 前売り券1200円(当日券1500円)
※小学生以下無料
闘産業建設課 ☎72-2129

構成自治体
▶久慈市 ▶新潟県小千谷市・長岡市 ▶島根県隠岐の島市 ▶愛媛県宇和島市 ▶鹿児島県徳之島町・天城町・伊仙町 ▶沖縄県うるま市

参考文献: ▶大森竹之助『南部牛と牛方』▶野田村村史編纂委員会『野田塩ベコの道』▶田村栄一郎『北三陸史巻No.5 九戸地方の製塩史』

interview

闘牛オーナー
石井 達雄さん
(千葉県船橋市)

誇るべき郷土の文化

私は小さい時から牛が好きで、大学で畜産を学びアメリカの牧場でカウボーイをしたこともあり。普段はなかなか牛と関わる機会はありませんが、闘牛オーナーとして、牛と、そしてこの場所との縁ができています。初めて飼った闘牛で横綱まで上りつめた「山木龍」、その弟の「虎己龍」。今でもこの場所に来るたびに、彼らの思い出話に花を咲かせることができる。そういったつながりができたことが幸せだと思っています。

闘牛はこの地に固有の「郷土の文化」。誇るべきものです。社会科見学で闘牛を見せたり、子牛に触って「五感で楽しめる」ようにしたり、と。この文化を、子どもたちが、もっと身近感じて受け継いでいってくれるように、取り組んでいってほしいと思います。

interview

いわて平庭高原闘牛会
松坂 義雄 会長

いわて国体通信

国体推進課 ☎ 54-8006

■柔道:10月8日(土)~10日(月・祝)

■軟式野球:10月2日(日)~5日(水)

柔道競技会開催まで

あと129日(6月1日現在)

歓迎の
気持ちを込めて
みんなで
作りました



上/心を込めて記念品を制作する参加者 下/記念品はメッセージカードと併せて選手らに送られます

5月20日、待浜公民館で行われた教室には20人が参加。国体の歴史や久慈市での開催競技などの説明に続き、記念品制作を開始しました。参加者は気持ちを込めながら、南部アカマツを使用したコースターを琥珀のかけらを用いて装飾。1時間ほどかけて約60個の記念品を完成させました。

参加者の久慈早苗さんは「受け取る選手の勝利を祈って作っています」と記念品に込めた思いを話しました。この日は待浜柔道教室と三船十段記念館の子供たちが書いたメッセージカードへのステッカー装飾も実施。心温まるメッセージに気持ちを重ね合わせながら、参加者は丁寧に作業をしていました。

選手の方々を歓迎し、久慈市をPRする「手づくり記念品」の制作教室を市内各地域で開催。市民の方々の協力により、歓迎の準備が着々と進んでいます。

思い込めた「手づくり」特産品を使った歓迎とPR!

国体のシンボル「炬火」



いわて国体で使用する炬火トーチ

「炬火」とは、オリンピックの聖火にあたるもので、国体期間中、選手を見守るシンボルとなります。

希望郷いわて国体の炬火は県内33市町村でおこした火を、10月1日に北上市で開かれる総合開会式に持ち寄り、一つにして完成させます。

久慈市では、市内のイベントなどに合わせて採火式(火おこし)を行い、それぞれの火を集めて「久慈市の火」を完成させます。初回は6月12日(日)「平庭高原つつじまつり」の会場で実施予定。皆さんの参加・観覧をお願いします。

<国体で、復興支援に感謝を伝えよう>

国体で、全国からの復興支援に感謝を伝えるため、市民の感謝メッセージ写真を募集中。イベント会場などで国体PRとあわせて撮影していますので、ご協力をお願いします。

私も

国体応援団



笑顔でお迎えます

清掃活動や花いっぱい運動で環境整備を行って笑顔で選手を迎えます。おいしい海の幸も味わってほしいです。

舩森 良子さん(待浜町)

選手の笑顔で元気に

市民みんなで応援し、大会を盛り上げましょう。きっと選手の皆さんの笑顔と活躍が私たちに元気づけてくれるはずです!

大向 達夫さん(待浜町)



このほど、平成28年春の叙勲及び褒章が発表されました。市内の受章者の皆さんを紹介します。



外交領事事務功労 瑞宝双光章

くぼ たもつ
久保 保さん

(夏井町・73歳)

昭和49年に外務省に入省。以後平成19年まで、外務本省のほか各国の大使館などに赴任し、邦人の援護活動をはじめとする領事事務に尽力しました。

受章にあたり、「旅券の紛失などで保護・支援が必要になった日本人を無事に帰国させるため、昼夜問わず対応することもありました。家族に支えられて職務を全うできました」と家族に感謝していました。



消防功労 瑞宝単光章

たきさわ せいぞう
滝澤 清造さん

(夏井町・75歳)

昭和35年に消防団員を拝命。以来、分団長を務めるなど40年にわたり火災や水害、水難事故などに出勤し、地域の防災活動に力を尽くしました。

受章にあたり「家族そして団員の協力あってこそ。みんなの力でいただいたと思います」と話し、後身の団員らに「消防団として責任ある立場を自覚し、それを全うしてほしい」とエールを送りました。



業務精励 黄綬褒章

したみち としゆき
下道 利幸さん

(栄町・62歳)

昭和58年に行政書士事務所を開設。以来、行政書士業務に精励し、平成元年から県行政書士会の理事、平成15年から2年間は同会長を務めました。

受章にあたり「許認可申請など行政書士にしかできない業務にやりがいを感じています。悔いのない仕事をしてきた自負はありましたが、褒章という形で認められたことに感謝しています」と話しました。

春の叙勲・褒章



保健衛生功労 旭日双光章

こばやし さだお
小林 貞夫さん

(巽町・81歳)

昭和35年に岩手医科大学医学部を卒業後、同学部第二外科に入局。14年間在籍の後、県立久慈病院勤務を経て昭和53年から小林外科を開業。学校医も担い住民と生徒の健康保持に貢献するとともに、介護保険の充実に尽力しました。また平成14年から平成20年まで社団法人久慈医師会の会長を務め、久慈地域の保健医療体制の強化を図ってきました。



消防功労 瑞宝単光章

がまの きえつ
蒲野 喜悦さん

(山形町・78歳)

昭和43年に消防団員となり、団員の育成や火災予防に尽力。平成9年からは副団長として後進の指導育成や住民の防火意識の向上に取り組んできました。

受章にあたり「火の粉が舞う中で行った小国と久慈大火での消火活動が記憶に残っています。再び災禍に見舞われぬよう活動してきました。思いもよらぬ受章に感激しております」と喜びを語りました。



郵政業務功労 瑞宝単光章

ひざわ ひでのり
日沢 秀則さん

(小久慈町・66歳)

昭和40年杉並郵便局に入局。大川目郵便局、久慈郵便局、紫波郵便局などで集配業務に従事し、再雇用期間を含め50年にわたり郵政業務を務めました。

受章にあたり「健康な体と家族の支え、そしてよき先輩をはじめ職場にも恵まれました。集配の際に声をかけてもらったり、ちょっとしたことが仕事の励みになったことを覚えています」と話しました。

財政用語の説明

表に出てくる分かりづらい主な用語を説明します。

【収入の関係】

- ▶ 地方交付税…人口や環境などの違いで生まれる地方間の格差を調整するために国から配分されるお金です。国が徴収する所得税や法人税などがもとになっています
- ▶ 国庫(県)支出金…国(県)が、市に対して交付する補助金など
- ▶ 市債…市が事業を行うために、金融機関などから借りるお金

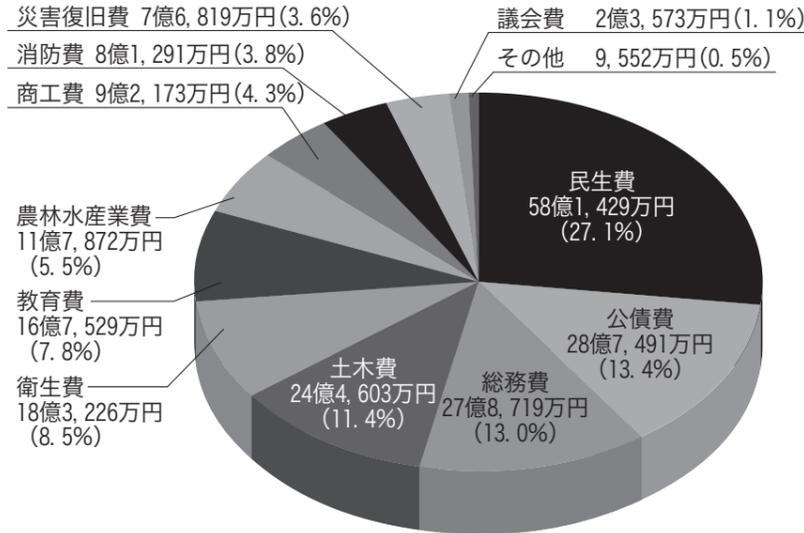
【支出の関係】

- ▶ 民生費…福祉や子育てを支援するために使うお金
- ▶ 公債費…市の借金返済などに使うお金
- ▶ 総務費…市役所の庁舎や財産の維持管理、戸籍管理、税金の徴収などに使うお金
- ▶ 土木費…道路や公園などの整備や補修に使うお金
- ▶ 衛生費…環境の保全や健康を増進するためなどに使うお金
- ▶ 教育費…学校や生涯学習、スポーツなどを推進するために使うお金
- ▶ 農林水産業費…農林水産業の振興などに使うお金
- ▶ 商工費…商工業や観光を促進するために使うお金
- ▶ 消費費…消防や災害対策などのために使うお金
- ▶ 災害復旧費…災害によって被害を受けた施設や道路などを復旧するためのお金

一般会計歳出

■ 予算額
297 億 9,644 万円

3月31日現在、支出済額
214 億 4,277 万円
(執行率 72.0%)

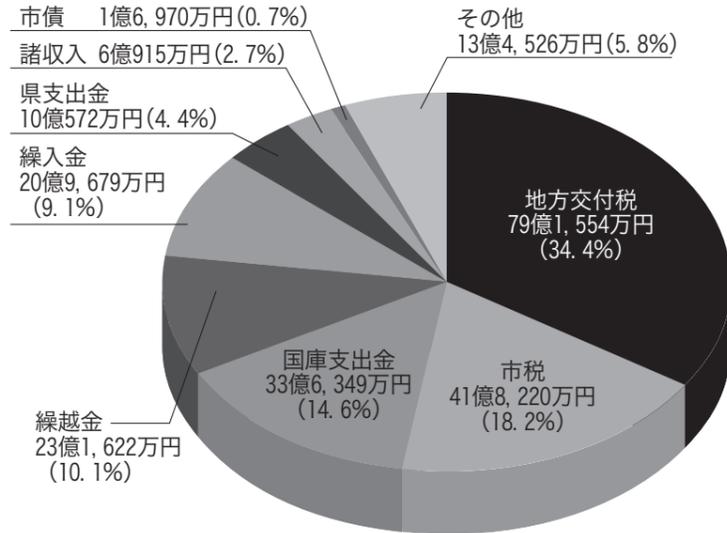


歳出

一般会計歳入

■ 予算額
297 億 9,644 万円

3月31日現在、収入済額
230 億 407 万円
(執行率 77.2%)



歳入

平成27年度

財政状況のお知らせ

市では、皆さんから納めていただいた税金や、国から配分されるお金をやり繰りし、平成27年度も東日本大震災からの復旧・復興をはじめとする各種事業を進めました。3月31日現在でまとめた平成27年度の財政状況のあらましをお知らせします。

※金額は1万円未満を四捨五入しています

財政課 ☎5212113

特別会計

■ 予算額 78 億 8,139 万円

会計名	収入済額	支出済額
土地取得事業	2,061 万円	2,061 万円
国保(事業勘定)	42 億 7,214 万円	48 億 3,756 万円
国保(直診勘定)	8,421 万円	1 億 8,065 万円
後期高齢者医療	2 億 9,558 万円	2 億 7,194 万円
介護サービス事業	2,864 万円	4,471 万円
魚市場事業	769 万円	1,267 万円
漁業集落排水事業	7,475 万円	2 億 5,367 万円
公共下水道事業	5 億 839 万円	8 億 8,053 万円
合計(予算の執行率)	52 億 9,201 万円 (67.1%)	65 億 234 万円 (82.4%)

公営企業会計

■ 会計名 水道事業会計

区分	収入額	支出額
収益的収支	7 億 6,551 万円	7 億 6,094 万円
資本的収支	5 億 9,702 万円	8 億 2,692 万円



市の会計は3種類

市の財政は、基本となる「一般会計」と、特定の事業や収入・支出を一般会計と区別して処理する「特別会計」、事業で得られる収入で経費をまかなう独立採算制を原則とした「公営企業会計」の3種類の会計で成り立っています。

これらの会計は、4月から翌年3月までの期間で一区切り。5月中に収入と支出を整理し、最終的な決算額をまとめます。

3月31日現在でまとめた平成27年度の財政状況はグラフと表のとおりです。予算に対する進み具合を表したものが執行率になります。

一般会計は34億減

はじめに一般会計の最終予算額は、297億9644万円(平成26年度からの繰越分を含む)。東日本大震災で被害を受けた施設や設備の復旧事業が一部完了したことなどにより、平成26年度の332億4194万円と比べ、34億4550万円の減になりました。

最終予算額に対する執行率は、歳入が77.2%、歳出が72.0%です。

次に特別会計です。市には国民健康保険や公共下水道などの特別会計があり、合計の予算額は78億8139万円で平成26年度の73億5760万円に比べて5億2379万円の増。執行率は収入が67.1%、支出が82.4%となっています。

最後は公営企業会計。市では、水道事業会計がこれにあたります。皆さんからいただく水道料金を主な収入として、水道水を作ったり、水道施設を維持管理するための収益的収支(消費税を含む)は収入額が7億6551万円で、支出額は7億6094万円となっています。

復興・発展に活用

市では大切なお金を有効に活用し、大震災からの復旧・復興をはじめとする重要課題の解決と、まちの発展・飛躍に向けて、本年度も全力で各種事業を進めていきます。皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

私たちの未来を、私たちの手で

「18歳選挙」が始まります

久慈市選挙管理委員会事務局 ☎52-2111(内線472)

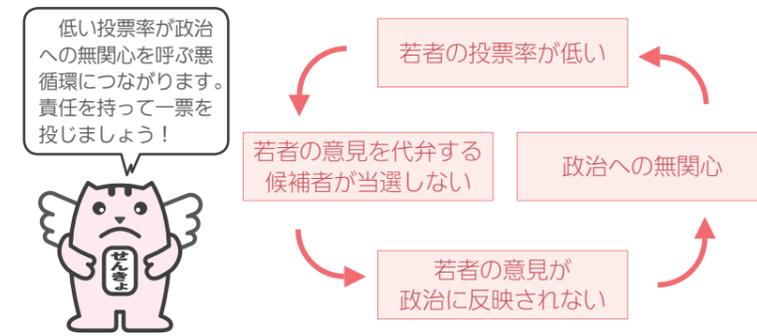
公職選挙法の一部改正により、選挙権年齢が「18歳以上」に引き下げられます。これに伴い、平成28年6月19日以降に公示される国政選挙から、新たに18歳・19歳の人たちが有権者として投票できるようになります。

少子高齢化が進む中、将来を担う若者の力をどのようにして政治に反映させていくのかが、これからの日本を考える上で大切です。いよいよスタートする18歳からの選挙、新たに有権者になる人も、そうでない人も、より良い未来を築くため一緒に考えてみませんか？



明るい選挙キャラクター 選挙のめいすいくん

選挙権年齢が「18歳以上」に
私たちの意見を政治に反映させるために、私たちの代表を選ぶ「選挙」。選挙に参加し投票できる権利を「選挙権」といい、一定の年齢（選挙権年齢）に達した国民に選挙権が与えられています。
公職選挙法の一部改正により、この選挙権年齢が、これまでの「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げられます。



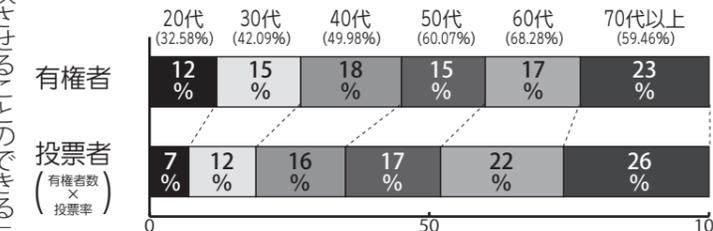
低い投票率が政治への無関心と呼ぶ悪循環につながります。責任を持って一票を投じましょう！

選挙権年齢の引き下げは、平成28年6月19日以降に公示される最初の国政選挙から実施。以降の国政選挙・地方選挙では、18歳、19歳の人たちも「有権者」として、投票できることとなります。

なぜ？選挙権年齢引き下げ
少子高齢化の進展により、高齢者の人口が増える一方で若い世代の人口が減少しています。このため、有権者数が少ない若い世代の意見が国や地方の政治に反映されにくく、結果となっていきます。
若い世代の意見を政治に反映させるため、より多くの若い人たちが選挙で投票できるように、国では選挙権年齢の引き下げを行いました。「18歳選挙権」により、新たに有権者となる18歳、19歳の人口は約240万人で全有権者の約2%。市内では約700人が、新たに有権者に加わるようになります。

若者の力を政治に反映!!
選挙は、私たち国民が主権者として「その意思を政治に

有権者と投票者の世代別構成比



若い世代は人口が少ないのに加え、投票率も低く若者の声が政治に反映されにくい状況です



総務省統計局人口推計（平成26年10月1日現在）及び第47回衆議院議員総選挙（平成26年12月執行）の年代別投票率を基に算出

Caution!

選挙運動に要注意!

- ◆選挙運動ができるのは 公示・告示日から投票日前日まで
- ◆満18歳未満は選挙運動ができません

有権者になると、特定の候補者に対する投票や応援を働きかける「選挙運動」が可能となります。悪質な選挙違反に関わった場合、未成年者であっても、保護処分ではなく刑事処分の対象となる可能性があります。
SNSでのリツイートやシェアなど、気軽に出来る行動も選挙運動に該当します。「つい」「うっかり」で公職選挙法違反とならないように十分注意しましょう。

インターネットを活用した運動も可能!

- 友人・知人に直接投票や応援を依頼
- 電話を使った選挙運動
- 選挙運動メッセージをインターネット上に書き込む。またはSNSなどで広める
- 選挙運動の様子を動画サイトなどに投稿

*1 ホームページ・ブログ・掲示板など
*2 twitter・Facebook・Line など
*3 Youtube など



- ×電子メールを使った選挙運動 *4
- ×戸別訪問による選挙運動
- ×飲食物の提供 *5
- ×署名運動
- ×買収（有権者にお金を贈ったり飲食等でもてなしたりすること）

*4 候補者・政党等は可能
*5 通常用いられる程度のお茶菓子は除く

次に該当する運動は禁止されています!



もっと知りたい! 選挙のこと

市選挙管理委員会では、選挙権年齢引き下げに関する新有権者向けのパンフレットやチラシなどを配付しています。希望される方は、お気軽にお問い合わせください。

また、市ホームページや市選挙管理委員会フェイスブックなどでも随時情報を発信していきます。こちらもぜひご覧ください。

久慈市ホームページ <http://www.city.kuji.iwate.jp/>

市選挙管理委員会 Facebook <https://www.facebook.com/senkyo.kuji>

総務省「18歳選挙」 <http://www.soumu.go.jp/18senkyo/>

大切な一歩です。今こそ、若者の力を久慈市、そして日本の未来のために生かしていきましょう。
投票する際の注意点
投票は「一人一票」。そして「投票日に」「投票所で」行うことが原則です。
有権者には、投票日前に投票所入場券などが送付され、投票日や投票所が案内されます。なお、万が一入場券を忘れた場合でも、「選挙人名簿」に登録されていれば投票することが出来ます。

投票所内では、秘密保持に つとめ、他人の投票内容を見たり、自分の投票用紙を見せたりしてはいけません。また、声を出して候補者の氏名を言ったり、話し合ったりせず、ルールやマナーを守り投票することを心がけましょう。
また、仕事やレジャーで投票日当日に投票所に行くことができない人は「期日前投票」や「不在者投票」が利用できます。「都合がつかないから、投票しなくていいや」と棄権することなく、責任を持って一票を投じましょう。

これまで、子どもの投票所への入場は、やむを得ない特別な事情がない限りは認められていませんでした。今回の公職選挙法の一部改正により、児童・生徒など選挙権を持たない18歳未満の人も、投票所への入場が可能となります。
ただし、投票用紙に書かれた名前を読み上げるなど、投票の秘密が守られなかったり、秩序を乱すなど判断された場合、退出を求められることもあるので注意しましょう。

みんなで一緒に 投票所に行こう!!

投票所で待ってます!



海・山の魅力が集結 くじ結っこ市が初開催

「結っこ」で地域を元気に

5月3日、長内町の玉の脇漁港で、久慈市漁協二子漁業生産部（新井谷幸夫部長）が今年1回目となる二子朝市を開催。ウニやホヤなど、地元で採れた新鮮な海産物を求める人たちが長い列ができました。朝市の会場内で併催された「くじ結っこ市」では、山根神楽が披露されたほか、まめ汁や田楽の販売が行われ、こちらも来場者の目を引いていました。海産物を目当てに二子朝市によく訪れるという大道敦子さん（小久慈町）は「食べるのが好きなので、海の味覚と山の味覚、色々味わえるのはうれしいです」と話しました。



海産物を買求める長い列

この日、初開催された「くじ結っこ市」は、「二子漁業生産部（長内町）」「久慈まめぶ部屋（山形町）」「端神部落会（山根町）」の3団体で構成する同実行委員会（二子賢一会長）が企画。担い手の減少に悩む各団体が、お互いの開催するイベントに参加し合うことで、集客の増加や地域の活性化につなげることを目的としています。名前の由来は、地域の共同作業を指す方言「結っこ」から。同実行委員会では、賛同する団体があれば委員会の承認を得て追加し、出展内容の充実を図っていきたくとしています。



山根神楽の奉納

有限会社栄光商会在がクリアファイル寄贈 国体に向け機運高める



遠藤会長（右）から感謝状を受けた川又代表取締役（左）

有限会社栄光商会在が、希望郷いわて国体久慈市実行委員会（会長 遠藤譲一市長）への企業協賛として、クリアファイル4千枚を寄贈。これを機に、4月26日に市役所で感謝状の贈呈式が行われました。遠藤会長から感謝状を受け取った同社の川又裕吉代表取締役は「地元での国体開催は数十年前に一度のこと。多くの子どもたちが『自分も参加しよう』という意識を持ち、貴重な機会を体験して欲しいです」と話しました。

人権思想の普及に取り組み、委員が表彰を受け、5月12日に二子朝市で開催された同委員協議会の総会で伝達を受けました。

- ◆受賞者（敬称略）
- ◆法務省人権擁護局長表 彰：高屋敷眞紀子
- ◆全国人権擁護委員連合 会長表彰：日當光男
- ◆県人権擁護委員連合会 長表彰：清水頭クニ子



表彰状を受け取る清水頭さん

NEWS

地域見守り協力事業に関する協定を締結

安心な暮らしへ、見守り体制充実



協定を結んだインフォコム の皆さん

高齢者や子ども、障がい者などが住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、地域全体で見守り活動を行うことが必要となります。市では、見守り体制の充実を目的に、戸別配達などを行う事業所等との間に「地域見守り協力事業に関する協定」を結んでいます。この協定は、事業者が業務で住宅を訪問した際に何らかの異変を察知した場合、関係部署への速やかな連絡、または警察や消防への緊急通報を行い、早期の対応につなげるものです。

5月12日、市内で買い物代行・移動販売事業を展開するインフォコム株式会社サービスビジネス事業本部久慈WorkSpace（内田智尚部長）との間に新たに協定を締結。これにより、協定の締結事業者は30社となりました。



協定を締結した事業者の配送車両等には見守り協力企業のマークがつけられます

NEWS

高木毅復興大臣が復興状況を視察

復興へ向けた支援を求める



要書を受け取る高木大臣（右）

5月14・15日の2日間、高木毅復興大臣が就任後初めて久慈市を訪れ、復興の状況を視察しました。遠藤譲一市長は高木大臣に対し、「東日本大震災からの復興に関する要書」を提出。湾口防波堤の早期完成や、送電網の強化、津波浸水区域内にある小学校の移転改築への支援を求めました。

14日、北日本造船株式会社久慈工場を訪れた大臣一行は、震災による犠牲者に黙とう。続いて、東京大学の丸山康樹教授らの説明により、波力発電実証実験の発電装置を視察しました。また、復興交付金などにより再建される復興のシンボルとなった久慈地下水路について意見を交わしました。



再建したもぐらんぴあを視察する一行

あっぱれ! 100歳

ご長寿おめでとうございます



家族から贈られた花にかこまれて

高柳 トキエさん（小久慈町） 孫、ひ孫からも祝福

5月5日に100歳を迎えた高柳トキエさん。9日に遠藤譲一市長が自宅を訪問し、お祝い状と祝い金を贈呈しました。現在も介護サービスなどは受けず、自宅で悠々自適のトキエさん。「長生きできたのも大事にしてくれる息子や嫁のおかげ。孫やひ孫もお祝いにきてくれたので、うれしかったです」と話しました。

八戸★トピックス

週末はこどもはっちへ!



こども服のおさがり市

日時 6月5日(日) 10時30分~13時

会場 八戸第一ホール 1階

春・夏物のこども服のおさがり市を開催します。0歳から7歳くらいまでの洋服をご用意。お気に入りの洋服を見つけましょう! 先輩ママたちによるプチフリマも同時開催します! 〇こどもはっち ☎0178-96-2932

津波避難訓練

6月15日(水) 6時～

消防防災課 ☎ 52-2173

消防救助技術訓練を公開

- 日時
6月13日(月)から18日(土)
10時30分～12時
- 場所
久慈消防署救助訓練場

久慈広域連合消防本部
☎53-0119

消防救助技術訓練の一般公開を行います。雨天時や災害発生時には訓練を中止する場合がありますのでご了承ください。なお、団体での参観を希望する場合は、事前に電話連絡が必要となります。詳細は久慈広域連合ホームページをご覧ください。

○震度5強の地震で大津波警報が発表されたことを想定し、沿岸地域で津波避難訓練を実施します。次の地区の皆さんは、積極的に訓練に参加し、避難路や避難場所を確認しましょう。

■緊急地震速報を活用し、サイレンと避難指示広報を防災行政無線で放送します。また、「緊急速報メール」で訓練災害情報を配信します。

○各地区の緊急避難場所

半崎	半崎集会所
閉伊口	へいのくち公民館
鼻館・住吉	若宮八幡宮(平山公民館)
大湊・夏井駅前	大湊公葬地
湊小前・新井田	総合福祉センター
湊町・源道	金刀比羅神社・長寿庵

下長内	下長内公民館
諏訪・元木沢	元木沢地区防災センター
玉の脇	久慈東高校 長内校舎
大尻	大尻地区漁村センター
小袖	小袖地区漁村センター
久喜	久喜保育園(園庭)
地区指定なし	久慈総合運動場

※待浜地区、二子地区、三崎地区は避難指示訓練のみとします

INFO

平成27年度 ふるさと納税の寄付状況

政策推進課 ☎ 52-2115

■寄付件数・金額 ※()内は平成26年度の状況

5,613件・6,339万9,281円 (1,076件・1,755万5,100円)

■寄付金を充当した事業と充当額

使途希望	充当した事業名	寄付金充当額	充当事業費
人材育成の推進	中高生海外派遣事業費補助金	451万7,607円	523万円
	学力向上支援員配置事業	421万8,736円	488万4,000円
産業の振興	農作物価格安定対策事業費補助金	346万3,327円	371万円
	山形村短角牛消費・販路拡大事業	73万0,006円	103万2,000円
福祉の充実	生きがい活動支援事業	444万6,233円	586万6,000円
	福祉バス運行事業	281万6,604円	371万6,000円
環境の保全	福祉タクシー事業	219万5,829円	289万7,000円
	地球温暖化対策推進事務	408万2,971円	497万9,000円
地域活動の支援	快適生活環境確保対策事業	245万9,295円	299万9,000円
	公民館生涯学習活動事業	279万0,569円	361万3,000円
市に委任	消防団活動経費	318万9,883円	413万円
	災害対策事業	2,348万4,801円	5,553万6,000円
	北三陸「あまちゃん」観光推進協議会負担金	500万3,420円	800万円

寄付を通じてふるさとや好きなまちを応援できる「ふるさと納税(寄付)制度」。寄付金額から2千円を除いた額は、一定の割合で所得税と個人住民税が控除されます。市外にお住まいのご家族、友人などへの呼び掛けにご協力をお願いいたします。

昨年度も全国からたくさんの方の寄付をいただきました。寄付の状況は下記のとおりです。寄付金は、寄付者の希望に沿って、各種事業に充当させていただきます。ご支援ありがとうございました。ご支援ありがとうございます。震災からの復興を加速させ、子どもたちに誇れる笑顔の日本一のまちづくりに取り組んでいる久慈市。今後ともふるさと「久慈市」への応援をよろしくお願いいたします。

寄付金・義援金

温かいご支援ありがとうございます



3月29日、新岩手農業協同組合より22,000円の寄付



4月11日、「歌の会なかま」より100,000円の寄付



5月19日、みちのく銀行労働組合より100,000円の寄付

INFO

「ボランティア養成講座」を開講

久慈拓陽支援学校 ☎ 58-3004

日 時	講座内容
1 7月28日(木) 10:00～12:00	開講式(講座内容説明) 学校概要説明・見学 講義:障がいに対する理解
2 7月28日(木) 13:30～15:30	講話:ボランティアについて学ぼう 演習:キャップハンディ体験
3 8月23日(火) 10:00～12:00	講義:発達障がいの児童・生徒に対する指導・支援について
4 9月12日(月) 9:30～11:30	講義:知的障がい・自閉症の子ども達の理解と支援 演習:小学部・中学部での授業体験
5 9月14日(水) 9:00～11:00	講義:重度重複障がいの理解と支援 演習:特別学級での授業体験
6 9月16日(金) 15:00～17:00	演習:久慈秋まつり「お神輿かつぎ」参加体験
7 10月7日(金) 9:30～11:30	講義:本校生徒の進路について 演習:高等部での授業体験
8 10月20日(木) 9:30～11:30	講話:ボランティア体験 閉講式

県教育委員会では、障がいのある児童・生徒の自立や社会参加を支援する「特別支援教育」への理解を深める「特別支援ボランティア養成講座」を開講します。講義や行事への参加を通じて、一人一人に合わせた支援やボランティア活動

動の基本を学ぶことができます。講座は全8回。6回以上参加した人には認定証が授与されます。
▼会場:久慈拓陽支援学校(第6回のみ久慈秋まつり会場)
▼定員:10人程度(高校生以上)
▼申込締切:7月14日(木)

INFO

「児童手当現況届」提出は6月中旬に

子育て支援課 ☎ 52-2169

児童手当の受給者は、毎年6月中旬に現況届の提出が必要です。届出がない場合、6月以降の児童手当の受給ができなくなります。対象者には、事前に現況届の用紙を送付しますので、忘れずに届出をお願いします。現況届の受付場所と日時は左表のとおり。該当する日時に来ることができない場合は、6月30日(木)までに、子育て支援課または山形福祉室の窓口届け出てください。

◇児童手当の概要◇

■支給額(月額)

- ▶3歳未満…一律15,000円
- ▶3歳～小学校卒業…
第1子・第2子:10,000円 / 第3子以降:15,000円
- ▶中学生…一律10,000円

■支給時期…毎年6月、10月、2月

■支給対象…中学校卒業(15歳に達した年度末)までの児童を養育している人

※児童手当の受給には所得制限があります。受給者の所得が一定額を超える場合、年齢に関わらず特例給付として月額5,000円(一律)を支給します。

現況届は毎年忘れず提出を!





梅沢政隆
リポーター



大久保勝男
リポーター



金田一元
リポーター



雪の舞う「山根一本桜」

山根一本桜咲いてたらしいねトレッキング 4月29日



雪が舞う中、みんな笑顔で一本桜と記念写真

桜が咲いているかは運次第！地域おこし協力隊と山根公民館の共催事業「山根一本桜咲いてたらしいねトレッキング」が開催。雨が雪に変わり、参加者30人は途中からバスで移動。花はまだつぼみでしたが雪の舞う一本桜の風景に皆満足した様子でした。(大久保)

出発式 あまちゃんながら

お座敷列車が運行開始 4月29日



お客さんと北三陸観光大使によるくす玉割り

三陸鉄道の久慈駅で、お座敷列車の出発式が行われました。式には北三陸観光大使も登場し、連続テレビ小説「あまちゃん」さながらのくす玉割りが行われました。この日の乗客の中には、香港から訪れた人も。お座敷列車の旅であまちゃんワールドに浸っていました。(金田)



出版された楽譜を遠藤市長に手渡す上田さん(中央)と宇部さん(右)

三陸鉄道の詩が合唱曲に

三陸鉄道(さんてつ)が行く 楽譜寄贈 4月26日

宇部町在住の詩人・宇部京子さんの詩による合唱曲7曲を収録した楽譜「三陸鉄道が行く～小さな村の物語～」が3月に出版されました。作曲は、市民参加型の合唱プロジェクト「レクイエム・プロジェクト」を主宰する上田益さん。久慈管内の合唱団などが参加する「同プロジェクト北いわて」のために作曲されました。この日、宇部さんと上田さんが市役所を訪れ楽譜を寄贈。遠藤譲一市長に楽譜を託した宇部さんは「この詩は震災の5日後、運行を再開した三陸鉄道の車両を見て、この感動を忘れたくないと書きとめたもの。長年詩を書いてきて、目標のひとつだった楽譜の出版が上田さんのと出会いによって叶えられ、うれしく思っています」と話しました。収録曲は、7月18日にオーケストラを招いてアンバーホールで開催される「レクイエム・プロジェクト北いわて2016」コンサートで、合唱が披露される予定です。

大歓声！ユニカール大会

夏井公民館館長杯ユニカール大会 4月30日



狙いを定めて、えーいっ！小学生もナイスプレー

夏井町ユニカール愛好会の全面的な支援のもと夏井公民館館長杯ユニカール大会が開催。小・中学生を含む地域住民34人が熱戦を繰り広げました。参加者はナイスプレーや珍プレーが繰り出されるたび、惜しみない拍手と爆笑。会場には終始大歓声が響き渡りました。(梅沢)

古里の味を求め大にぎわい

第54回水車まつり開催 5月1日



地元の味を求め賑わう、桜が満開の会場

水車まつり(端神部落会・同実行委員会主催)が開催。小雨の中、会場を訪れた来場者は田楽や軍配もち、焼きストグなど古里の味に舌鼓。また、桂の水車広場では山根神楽舞や大正琴の演奏、たたら製鉄の実演などが行われ、会場は大いににぎわいました。(大久保)

里山を学びの場に整備

「継の森」植樹祭 5月11日



後の斜面に広葉樹を植樹しました

久慈ロータリークラブ(長内治夫会長)が、同クラブが整備する門前の継の森で植樹祭を開催。岩手県企業局の植樹活動支援事業を活用し、カエデ10本、モミジ10本、コブシ5本を植樹。長内会長は「環境体験学習の森として、里山景観を整備していきたい」と話しました。

交通事故減少に取り組む

交通指導員委嘱状交付式 5月9日



委嘱状を受け取る熊谷好行さん(左)

市交通指導員の委嘱状交付式が市役所で行われ、新人2人を含む19人が指導員の委嘱を受けました。委嘱状を交付した遠藤譲一市長は「交通事故は被害者も加害者も大変。事故の減少に向け一緒に取り組んでいきましょう」と呼びかけました。指導員の任期は2年間です。

色とりどりの花の市

久慈環境緑化まつり 5月1～3日



鮮やかな鉢植えの中から希望の花を選ぶ来場者

久慈環境緑化まつりが行われ、期間中約2,800人の来場者でにぎわいました。色とりどりの花が咲く鉢植えや植木が並ぶ会場では、来場者がお目当ての鉢を熱心に品定め。会場内には木工体験や地球温暖化防止を学ぶブースも出展し、たくさんの家族連れが楽しんでいました。

元気に泳げ！鯉のぼり

鯉のぼりフェスティバル 4月26日



上/綱を引く子どもたち 右/空を泳ぐ鯉のぼり

市内15の保育園から園児約300人が参加し、福祉の村で鯉のぼりフェスティバルが開催。かけ声に合わせて園児らが綱を引くと、約100匹の鯉のぼりが一斉に春の空に舞い上がりました。風を受けて元気よく泳ぐ鯉のぼりに、子どもたちも大喜びです。

競技を通し交流の幕開け

市民体育大会開会式 5月15日



選手宣誓を行う久保繁明さん(中央)

市内12地区対抗戦で行われる市民体育大会の開会式が市民体育館で行われ、久慈中央体育協会の久保繁明さんが力強く選手宣誓をしました。開会式後に行われたママさんバレーボールとゲートボールを皮切りに12月までにオープン競技5種目を含む全18種目で争われます。

震災の記憶を後世に残す

東日本大震災サイン板除幕式 5月11日



関係者らにより除幕が行われたサイン板

久慈環境美化協会(一沢明男会長)は、久慈港諏訪下公園内に東日本大震災の被害状況と市内各地の震災時の写真を刻んだサイン板を設置。除幕式で一沢会長は「隣接するケルンとともに、震災の記憶を風化させず、後世に伝える一助にしたい」と思いを込めました。

My life in Kuji

クリスティーナ・コイ さん

インディアナ州・27歳 / 久慈湊小、小久慈小、大川目小、久慈中、長内中、夏井中を担当



Kuji will always be my "Japanese hometown".

「当機はまもなく成田空港に到着いたします。ようこそ日本へ。」平成24年6月24日、私は日本に降り立ちました。見渡す限り広がる緑の山々、轟々と流れる溪流の水音、ピリピリと鼻を刺激する「ヤマセ」の匂い。何もかもがインディアナ州とは違い「これから2年間、素晴らしい経験になるぞ!」そう思いました。

久慈では優秀で熱心な生徒、フレンドリーな学校の先生たちに出会い、楽しく授業ができました。久慈のこと、日本の文化などたくさんのことを学びました。特別なことを何もできない私を、家族のように温かく迎え入れ、たくさんの笑顔や温かな言葉、やさしさをくれました。おかげで2年の滞在予定を延ばし、私の人生でとても大切な4年間になりました。

山、溪流、海。久慈の美しい風景はいつまでも私の心に残るでしょう。でも、それ以上に皆さんとの出会いが、私にとって一番の思い出となりました。

私の「日本のふるさと」久慈の皆さん、4年間本当にお世話になり、ありがとうございました。

みんなの広場



日野沢地区を見下ろせる場所に立つ館石神社の社殿



ぶらりくじ歩き

日野沢地区のシンボル
館石神社

山形公民館 72-3711

山形町日野沢の旧日野沢小学校近くにある、小高い山に建つ「館石神社」。神社の周辺は「みんなの森」として整備され、毎年5月には例祭が行われます。「館石」の名称はさまざまなイベントやスポーツ大会のチーム名などにも使われるなど、日野沢地区のシンボルとして地域住民に愛されています。

また、神社の近くの水車パークには水車小屋や広場が整備され、赤そばまつりやパークゴルフ大会が開催されています。

自然豊かで清らかな川が流れる日野沢地区。これからの季節、涼を求めてお立ち寄り下さい。

協力隊の元気通信



左/委嘱状を受け取る木村隊員
下/活動に意欲を見せる新たな隊員の皆さん



新たな隊員が活動を開始!

この春、木村圭次さん、志水彩子さん、前田比奈さん、深沢奈津実さんの4人が久慈市地域おこし協力隊として活動を開始。それぞれの経験を生かしながらか地域づくりや伝統文化の保存・継承などの地域おこし活動に取り組みます。市民の皆さんの応援とご協力をお願いします。各隊員の主な活動内容は次のとおりです。※写真右から。カッコ内は出身地。

- ▶木村隊員 (京都府): 地域づくりに関する活動全般
- ▶前田隊員 (千葉県): 海女文化の保存・継承活動
- ▶志水隊員 (神奈川県): 山形町ならではの商品開発
- ▶深沢隊員 (埼玉県): 三陸ジオパークのガイド・PR

●地域おこし協力隊...都市地域から生活の拠点を移した者に市が委嘱。一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PRなどの地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援など「地域協力活動」を行います。

きらり人輝く



1/大観衆を前にパレード。半てんの中は特製国産Tシャツで岩手国産もPR 2/参加した長中ソーラン隊の皆さん 3/約1時間にわたり踊り続けるパレード。渾身の力を振り絞ります 4/最終ステージで、福島チームと一緒に踊って交流



笑顔と元気で魅せた! 伝統の「長中ソーラン」披露

長内中学校が全校生徒で取り組んでいる「長中ソーラン」。久慈秋まつりははじめとする、市内のイベントなどでも披露され親しまれています。長内中学校のよさこいソーランの始まりは平成15年。運動会の応援として、修学旅行で訪れた北海道で大学生から教わったのがきっかけです。翌年、生徒たちは学校を訪れた民謡歌手の伊藤多喜雄さんによさこいソーランを披露。感激した伊藤さんは「今じゃ岩手の長中節よ」と歌詞に込めたオリジナル曲を収録して贈ってくれました。こうして誕生した「長中ソーラン」は、今も生徒たちが後輩へと伝統をつなぎ、踊り継がれています。

その長中ソーランが広島へ!「ひろしまフラワーフェスティバル」は、5月3日から3日間にわたり広島市平和大通りを舞台に行われ、毎年百万を超える観客が訪れる平和と花の祭典。今年40周年を記念し、中国新聞社「届けよう希望元気キャンペーン」で市民から募金を募り、岩手・宮城・福島のよさこいグループが招待され、長内中学校が岩手県代表として参加。総勢26人の「長中ソーラン隊」が笑顔と元気を届けてきました。



長中ソーラン隊 隊長
欠畑 夏海さん (3年)

広島に向けたチャレンジ 私たちのソーランは、通常はステージなどで位置を替えずに踊ります。でも、今回のパレードでは常に歩きながら踊らなくてはなりません。そのため「長中ソーラン」と「ニューソーラン」には歩きながら踊れるようにアレンジを加えました。また、久慈らしさをPRできるように「あまちゃんOPテーマ」の踊りも新たに取り入れられました。メンバーは、招待が決まったから、オーディションで選ばれた精鋭26人。春休みから毎朝集まって、練習を重ねてきた成果を本番でも発揮できたと思います。

ながら、踊り続けるのは大変でしたが、沿道にはお客さんがたくさんいて、みんな笑顔で見てくれていました。それがうれしくて、自然と笑顔と元気があふれてきました。特に、パレード終盤、これがラストという時には、自然とみんなこれまでになく声が出て一番良いソーランを踊ることができました。とても楽しかったです。

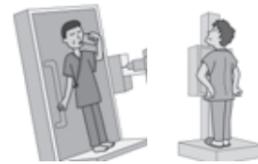
広島に元気で笑顔をお届けしたと思うし、何より「これが長中のソーランだ!」というのを、大きな舞台で魅せることができて良かったです。

経験を糧にレベルアップ 同じく招待された宮城・福島チームと一緒に踊ったり、交流することができました。また、私たちより「もっと笑顔で」「もっと声を出して」「もっと格好よく」踊って、見ている人たちが盛り上がるチームもいて、とても刺激になりました。私たちも、今回広島に行ったメンバーを中心に、さらにレベルの高い、自分たちのソーランを目指していきたいと思っています。

元気健康
だより

～あなたの健康がみんなを笑顔に～
がん検診のすすめ

保健推進課 ☎ 61-3315



日本人の死亡原因の第1位は何かご存知ですか？答えは「がん」です。日本人の2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで亡くなっています。

私たちの体の細胞は毎日壊れたり再生したりして一定の調和を保っています。その中のいくつかの細胞が喫煙や食生活の習慣、ストレス、高齢化などの刺激で傷つくと細胞が突然がん化することがあります。

近年、医療の進歩によりがんは初期段階で

あれば治る病気になってきていますが、そのためには症状が出る前を見つけることが最大のポイントになります。

現在、今年度の住民検診（各種がん検診）の申込受付を行っています。ご自宅に届いた申込書に必要事項をご記入の上、「元気の泉保健推進課」にお申し込みください。

1人1人がしっかりと自分のからだ向き合い、みんなが笑顔で毎日生活するために定期的にがん検診を受けましょう。

今月の元気さん



長内 六次郎さん
(山形町・91歳)

趣味はゲートボール。最近はグランドゴルフにも挑戦し楽しんでいます

子育て
応援
だより

利用案内

子育て支援センター (川崎町11-1) ☎ 52-3210

■対象・利用料…未就学児と保護者・無料

■利用時間…①月～金 8時30分～17時 ②土 8時30分～13時30分

■休館日…土曜日の午後、日曜日、祝日



行事の紹介



リズムあそび

ピアノに合わせて、簡単な歌あそびや体あそびをしたり、親子で楽器を作ったり。みんな、あそびに来てね！

日	時間	行事名
1(水)	13:30～15:00	赤ちゃんサロン 対象…1歳3カ月までのお子さんと保護者
8(水)	11:00～11:20	絵本の読み聞かせ
14(水)	10:30～11:30	リズム遊びを楽しもう (申し込みが必要です)
21(水)	10:30～11:30	ひよこ教室 対象…2・3歳児のお子さんと保護者 (要申し込み)
24(金)	終日	あそびの教室 対象者が決まっているため、自由来所はできません
27(月)	9:30～11:00	園庭開放・小久慈保育園

今月の元気ちゃん



大石 直佳 ちゃん
(5歳・畑田保育園)

おばあちゃんとカメ吉に会いに行ってきたよ！

写真で久慈市を振り返る

なつかしタイムカプセル

昭和42年6月25日



市民体育館の落成式が開催。式典後の記念行事には約700人の市民が参加し、完成を喜びました。

編集後記

2年前、広報担当の時に海女さんの話を書きました。その時受けたツッコミが「面白いけど、広報に載せる話ではないよね」でした。同じツッコミを覚悟で書いてみた今回の牛の話。はてさて如何だったでしょうか？(後)

図書館
だより



《市立図書館》 ☎ 53-4605

■開館時間…9時～19時 (土日祝は17時まで)

■休館日…6(月)、13(月)、20(月)、27(月)、30(木)

「日本人と馬の文化史」

久慈勝男/著
文真堂/出版



優れて文化的な存在である馬と日本人の関わりを東アジア文化圏の視点でとらえ、騎馬文化の成立と初期伝来から現代まで文明の相克の中、馬と歩んだ日本人の心性の軌跡を描いた1冊。著者は当市の出身者です。

- 企画展「環境に関する本展」…1(水)～26(日)まで
- 巡回展「戦争の時代と岩手の人々」…10(金)～19(日)
- 朗読劇「やまねこおことわり」他…18(日)15時～
- 図書館映画会…①11(土)②25(土)10:00～14:30～(2回)
- 読み聞かせ会「チビッコの部屋」…①11(土)11:00～②25(土)14:00～
- ブックスタート…16(木)①10:30～②13:30～ ※①4～5カ月児相談、②6カ月児健診の会場(元気の泉)で開催

6月の利用案内

おすすめ図書

イベント情報



《山形図書館》 ☎ 72-3711

■開館時間…10時～18時

■休館日…6(月)、13(月)、20(月)、27(月)

「あゝ、わが街に砲弾の雨が降る」

千田ハル/著
ツーワンライフ/発行



昭和20年7月14日と8月9日、二度も艦砲射撃で砲撃された釜石。艦砲射撃で死んだ人は、1千人を超えました…。卒寿の語り部による、時代へのメッセージ。釜石市における戦災の状況等の資料も収録。

- 企画展「『牛』の図書展」…15(水)まで
- 企画展「エコライフブック展」…1(水)～29(水)まで
- 企画展「岩手の食事と生活」…10(金)～7/17(日)まで

アンバー
ホール
情報

文化課 ☎ 52-2700



8月28日(日) アーティスト紹介コンサート
14時開演 「ラ・ムジカ・コッラーナ」

▶会場…久慈市文化会館(アンバーホール)小ホール

▶料金…全席指定 一般1,500円(友の会1,300円)
高校生以下800円(友の会500円)

▶チケット発売日…友の会 6月18日(土)9時～
一般 6月25日(土)9時～

宝くじ文化公演
白石加代子「百物語」シリーズ

▶日時…9月8日(木)18時30分開演

▶会場…久慈市文化会館小ホール

▶料金…全席指定 一般2,000円

▶チケット発売日…6月25日(土)

生活
環境
だより

生活環境課 ☎ 54-8003



家庭でのマイマイガ対策！

- ①市販のケムシ用の殺虫剤を使用する。
- ②水と洗剤を入れた容器に幼虫を入れる。
※ケムシを捕まえる時は、手袋や火箸を使い、直接触らないように注意してください

■噴霧器、薬剤を貸し出します

町内会などで行う集団的な駆除を対象に、噴霧器・薬剤を貸し出します。地区の衛生班長を通じて生活環境課に申し込みください。

※数に限りがありますのでご了承ください
※個人での申し込みは受け付けできません

暮らしの情報

このページでは、暮らしに役立つ情報をお知らせします。

- ★本庁舎 ☎52-2111
- ★山形総合支所 ☎72-2111
- ★宇部支所 ☎56-2111
- ★侍浜支所 ☎58-2111
- ★山根支所 ☎57-2111

※市役所の各課の番号は直通電話です。また、上記の代表電話からも掛けられます

募集

市営住宅空きあります

住宅名	戸数	家賃(月額・円)
萩ヶ丘地区住宅①	2	3,400～5,100
萩ヶ丘地区住宅②	1	4,200～6,300

▶申込期限…6月15日(水)

☎建築住宅課 ☎52-2120

☎山形総合支所産業建設課 ☎72-2129

縦断リレーランナー募集

青森から東京まで被災地をつなぐ復興支援リレー。久慈市区間をゲストランナーと一緒に走ってみませんか。詳しくは市HP又は「未来への道1000km縦断リレー2016」HP (<http://www.1000km.jp/>) をご覧ください。

▶実施日…①7月25日(月)(八戸～久慈) ②7月26日(火)(久慈～宮古)

▶募集人数…各30人程度

▶申込期限…6月12日(日)

☎生涯学習課 ☎52-2156

教育委員会 会議の予定

☎教育総務課 ☎52-2154

▶日時…6月16日(木)15時30分～
▶会場…市役所3階・第1会議室
※傍聴可。日程は変更する場合あり

元気な地域づくりを応援!

市では、町内会などの団体が実施する地域づくり活動を支援するため、「地域コミュニティ振興事業」「コミュニティ活動備品整備事業」を実施中。対象事業など、詳しくはお問い合わせください。

☎地域づくり振興課 ☎52-2116

被災地の支え合いに助成

岩手県共同募金会では東日本大震災被災地の復興に向けて、住民同士の支え合い活動と、被災住民を支援する活動を助成します。助成対象や応募方法など、詳しくはお問い合わせください。

☎岩手県共同募金会 ☎019-637-8889

税務職員の採用試験

仙台国税局では税務職員を募集します。国家公務員採用試験HP (<http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html>) から申し込みください。

▶対象…高校卒見込み者、高校卒業3年を経過していない人など

▶応募期間…6月20日(月)～6月29日(水)

☎仙台国税局人事第二課 ☎022-263-1111

スポーツ吹き矢を体験

誰でも気軽に参加できるスポーツを体験しましょう。参加料無料です。

▶日時…①6月10日(金)②6月17日(金)両日19時～20時30分

▶場所…久慈市民体育館

▶対象…市民・各15名(要申込)

▶その他…タオル、飲料水等を持参し動きやすい服装で参加ください

☎久慈市民体育館 ☎61-3353

介護サービス事業者を募集

介護施設を設置・運営する事業者候補者を募集します。申請方法など、詳しくはお問い合わせください。

▶募集施設…認知症対応型デイサービスセンター1施設(定員12名)

▶申込期限…6月30日(日)

☎介護支援課 ☎61-1112

お知らせ

市議会6月定例会議の予定

◇本会議…6/9(木)、◇一般質問…14(火)15(水)◇常任委員会…17(金)、◇本会議…22(水)

議会は庁舎南側議会棟傍聴席で傍聴できるほか、インターネット中継も行っています。

☎議会事務局 ☎52-2188

水道管の漏水調査

水道メーターを確認するため、水道事業所の腕章と身分証明書を携帯した調査員が敷地内に立ち入るほか、公道で昼夜の作業を行います。ご協力をお願いします。

▶調査期間…平成29年3月まで

☎水道事業所 ☎52-2189

看護のお仕事相談

岩手県看護協会では公共職業安定所と連携し、看護職の相談員が就業相談を行います。相談は無料です。

▶日時…毎月第1・3木曜日10時～15時

▶会場…ハローワーク久慈

☎岩手県看護協会 ☎019-663-5206

6/1～10は電波利用環境保護周知啓発強化期間 ～電波はルールを守って正しく使いましょう～

音楽を身近に楽しもう!参加者を募集中

■合唱ワークショップ

初心者を対象に楽譜の読み方、発声方法など丁寧に指導。秋の成果発表を目標にハーモニーを楽しみませんか。

▶期間…6月～11月(全8回程度)

▶指導…間口友美先生(ソプラノ歌手)

▶会場…アンバーホールほか

▶定員…先着30人※参加料無料

▶申込期限…6月20日(月)

■ピアノマラソンコンサート

世界最高峰のスタインウェイ社ピアノで演奏してみませんか。

▶日時…8月21日(日)9時30分～

▶会場…アンバーホール

▶対象…市内在住の小学生以上

▶定員…先着100組※参加料無料

▶申込期間…6月8日(水)～30日(木)

☎文化課 ☎52-2700

高卒予定者の求人受付

平成29年3月の高等学校卒業予定者を対象とした求人受付が6月20日(月)から始まります。申込方法など詳しくはお問い合わせください。

高校生の地元定着のため、早期の求人申込みをお願いします。

☎ハローワーク久慈 ☎53-3374

HIV検査のすすめ

6月はHIV検査普及期間です。感染の有無は血液検査を受けなければわかりません。久慈保健所ではHIV検査を毎月第2火曜日に実施しています。匿名・無料で受けられますのでお気軽にご利用ください。

☎久慈保健所 ☎53-4987

ひとり親家庭の法律相談

離婚や養育費など日常生活の悩みや困っていることへ弁護士が無料で相談に応じます。

▶日時…6月22日(水)10時～15時

▶会場…久慈地区合同庁舎

▶対象…ひとり親家庭、寡婦など

※事前に予約が必要です

☎県北広域振興局保健福祉環境部 ☎53-4982

女性の権利110番

岩手弁護士会ではDVやストーカー、セクシャル・ハラスメントなど女性に関わる相談を電話で受け付ける無料法律相談「女性の権利110番」を実施します。

▶日時…6月24日(金)10時～16時

▶専用電話…019-625-1171

☎岩手県弁護士会 ☎019-651-5095

書道協会展を開催

平成28年度の市民芸術文化祭の一環として、久慈書道協会展を開催。出展者の力作をぜひご覧ください。

▶期間…6月24日(金)～26日(日)

▶会場…アンバーホール3階展示室

▶入場料…無料

☎久慈書道協会事務局 ☎52-3993

介護支援専門員の試験

県介護支援専門員実務研修受講試験を実施します。申込書は元気の泉、社会福祉課及び山形福祉室で配布中。詳しくはお問い合わせください。

▶日時…10月2日(日)10時～

▶申込期間…6月22日(水)～7月6日(水)

☎いきいき岩手支援財団 ☎019-626-0196

6月のお知らせ

6月4日(土)は
休診となります。

小児科・内科
アレルギー科
ちだ医院
久慈市門前37-56-26 ☎61-3366

久慈ひまわり基金 法律事務所

相続 遺言 離婚 債務整理
破産 成年後見 不動産登記
など何でもご相談下さい
TEL0194-61-1818
※要予約
営業時間 平日9:00～17:30
久慈市川崎町12-18 YKビル1階

高齢者向け配食サービス

おいしくバランスのとれた
お食事をご自宅までお届け致します
和食中心で懐かしい
家庭の味が特徴です。
おかず・ごはん・味噌汁
1食500円(税込)
※きざみ、おかゆ、減塩、アレルギー等個別対応
配食センターなごみ
久慈市長内町21-2 ☎53-5225
営業許可証 岩手県指令第4301-10号

診療案内 小児科・アレルギー科・内科
関上こどもクリニック
休診日：水曜・祝日
(病児保育室を)
開設しております。
6/19(日)臨時休診
久慈市長内町24-98-2
☎0194-75-3722

仏壇、神仏具、花罌、葬儀一式
●くじせれモニーホール●
メモワール・ノヴァ
長内館・川貫館
24時間体制で受付しております
(有)野場造花仏具店
久慈市十八日町 ☎52-2010

真心をこめた料理をお届け致します。
《各種仕出し料理承ります》
祝膳・仏膳・折詰・弁当・オードブル・寿司
(御予算に合わせてご用意させていただきます。)
安心安全の目印「Sマーク」登録店
おおむら
久慈市長内町34-26-1
TEL 0194-52-1155

にっぽん丸を見送ろう!
☎港湾・エネルギー推進課 ☎52-2369

久慈港から出港する勇壮な客船に手を振り、感動を分かち合いませんか。
▶日時…6月7日(火)17時出港
▶会場…久慈港諏訪下ふ頭

広報5/1号 おわびと訂正
広報くじ5月1日号の日本武道具製造株式会社の広告に誤りがありました。正しくは次のとおりです。おわびして訂正します。○22号…ミツボシ繊維工業株式会社グループ



上/若牛の練習会を兼ねた「平庭闘牛わかば場所 中/珍しい白毛の短角牛「白龍」号。サミット記念大会にも出場予定です 下/加藤教育長から認定書を交付される松坂会長(左)



15日、同会が主催した「平庭闘牛わかば場所」の取組後には、闘牛の手綱を握る「勢子」の練習会も開催。次代を担う若い勢子たちが、暴れる牛たちに翻弄されながら、汗を流していました。

「地域の文化として、保存・継承活動にも取り組んでいただきたい」と話しました。

市教育委員会は、山形町の闘牛を地域の歴史・文化を伝える習俗「牛の角突き」として、5月2日付で市無形民俗文化財に指定。10日、市役所で保持団体となる「いわて平庭高原闘牛会」(松坂義雄会長)に認定書を交付しました。認定書を手渡した加藤春男教育長は

山形町「牛の角突き」 無形民俗文化財に指定

市

教育委員会は、山形町の闘牛を地域の歴史・文化を伝える習俗「牛の角突き」として、5月2日付で市無形民俗文化財に指定。10日、市役所で保持団体となる「いわて平庭高原闘牛会」(松坂義雄会長)に認定書を交付しました。認定書を手渡した加藤春男教育長は

いきいきキッチン

久慈市食生活改善推進員協議会 ☎ 61-3315

海鮮野菜サラダ

- 材料(2人分) 【1人分…36kcal / 食塩相当量 0.3g】
- | | |
|----------------|---------------|
| むきエビ…………… 20g | オクラ…………… 4本 |
| ワカメ…………… 30g | レタス…………… 20g |
| ノリ…………… 5g | ごまドレッシング…小さじ1 |
| キュウリ…………… 100g | おろしショウガ…小さじ1 |



- 1 むきエビをさっと茹でて水けを切る。オクラはさっと茹でて小口切り、キュウリは薄切り、ワカメは食べやすいサイズに切る。レタスは小さく手でちぎる
- 2 1を全て合わせて器に盛り、のりを細く刻んでかける
- 3 ごまドレッシングとおろしショウガを合わせたものをつける

POINT ・旬の野菜や海藻、タコ、ホタテなど、いろいろな食材で試してみましょう
 ・久慈地域は脳卒中で亡くなる方が県内ワースト1です。「適量・適塩」適度に体を動かす「適動」を心がけましょう

「私達の健康は私達の手で」をスローガンに、栄養教室や離乳食指導などの食育活動を行う市食生活改善推進員。委員の皆さんが、手軽でおいしい郷土料理や、旬の食材を使った料理などを紹介するコーナーです



広報クイズ

答えは紙面の中に

問題1 選挙権年齢は「〇〇歳以上」に引き下げられます

問題2 長内中学校伝統の「長中〇〇〇」を広島で披露

- ▶ 応募方法…はがきに問題の答え・住所・氏名・年齢・電話番号と広報くじの意見や感想などを明記して下記まで
 - 〒028-8030 久慈市川崎町1番1号 地域づくり振興課
 - ▶ 締め切り…6月20日(月)消印有効
 - ▶ 賞品…図書カード500円分(抽選で5人)
 - ▶ 当選発表…賞品の発送をもって代えさせていただきます
- 〇2月1日号の答え
 問1 フランクリン市 / 問2 昼場沢